

参考資料① 地域特性

※観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」地域計画より抜粋

公益社団法人姫路観光コンベンションビューロー

コアエリア 「城下町エリア」 (姫路駅・姫路城 周辺)



世界遺産姫路城をはじめとする多くの歴史文化資源を有し、姫路・播磨地域の玄関口として宿泊施設・飲食店・土産店・商店街・商業施設が集積し集客の核となるエリア。姫路市民のソールフードともいえるご当地グルメが多数の飲食店で楽しめる

ヒストリップ・アーバンツーリズム

- 世界遺産 姫路城
- 姫路城を中心とした多彩な大型イベント（2023-2024）
- 姫路城西御屋敷跡庭園 好古園
- 播磨国総社
- 野里の町家（世界遺産のバッファゾーンに点在する町家）
- 姫路市立美術館「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト」
- 姫路文学館（安藤忠雄建築）
- 酒蔵（酒蔵見学/体験）
- 商店街（姫路駅から姫路城の間に、東西南北に広がる10の商店街）
- ご当地グルメ（姫路おでん、アーモンドバタートースト、姫路和牛、えきそば他）

周遊エリア 「里山温泉郷」



清流・夢前川のほとり、静かな田園地帯に湧く塩田温泉郷（開湯は約300年前）を中心に観光資源が点在するエリア。豊かな里山の自然環境のなか、清流の川魚、山菜、ジビエなどの里山グルメを旅館や飲食店で楽しめる

ウェルネスツーリズム

- 塩田温泉郷（開湯300年以上、播磨地域唯一の温泉）
- 書寫山圓教寺（ミシュラングリーンガイド2ツ星 / 日本遺産 西国巡礼）
- 奥播磨かかしの里（四方を山に囲まれた集落のまちおこし）
- 鹿ヶ壺（多段の滝と数十の滝壺/シャワークライミングやキャンプ）
- 雪彦山（クライミング）
- 日本玩具博物館（ミシュラングリーンガイド2ツ星）
- 大庄屋旧三木家住宅・敬業館
- 光洋製瓦（日本遺産銀の馬車道ルートにあり宿泊型体験施設）
- 里山グルメ（川魚、山菜、ジビエなど）

周遊エリア (家島諸島 / バイ エリア)



東西26.7km、南北18.5kmにわたり大小40余りの島嶼で構成される家島諸島を有するエリア。姫路駅から約50分で離島が楽しめる。兵庫県内でも随一の漁獲高を誇り、美食の島としても著名。ぼうぜ鯖、穴子、華姫さわら、白鷺はも、ぼうぜ蟹など四季を通じた鮮度の高いブランド鮮魚はこのエリアを中心に楽しめる。

ブルーツーリズム

- 家島諸島（島あるき、島グルメ、海水浴、釣り、シーアクティビティ）
※播磨灘の前どれ鮮魚（ぼうぜ鯖、穴子、華姫さわら、白鷺はも、ぼうぜ蟹など）
- 兵庫県立いししま自然体験センター
- 漁業見学船（漁場を身近に体験、船上での前どれ鮮魚の試食）
※「ひょうごフィールドパビリオン」SDGs体験型地域プログラムに認定
- JFぼうぜまえどれ市場
- 海の釣堀海恵 ・清水の浜、家島神社
- 姫路みなと祭り海上花火大会、家島天神祭、ぼうぜパーロンフェスタ等（イベント）
- 家島オープンウォータースイミング（スポーツ大会）
- 灘のけんかまつり（播州秋祭りの代表格）

<ビジョン>

城下町姫路での“ホンモノの歴史文化&食”の感動体験を通じて「泊まって旅する」観光地へ！

世界遺産をはじめとする「歴史・文化体験」「心と体を癒す自然環境」を楽しむとともに
「多彩な食資源・食文化」を1泊2日で！

<コンセプト>

姫路城での感動体験が、城下町エリア・里山温泉郷エリアでの体験によって、宿泊・観光施設に連鎖
することで観光客に1度の旅を何倍も楽しむ価値を提供する

姫路が培ってきた色とりどりの 風土（文化）とフードを楽しむガストロノミーツーリズム

(1) フードを楽しむガストロノミーツーリズム



- ・姫路でしか味わえない、前どれ鮮魚を食す
- ・姫路市民が愛してやまないソールフードであるご当地グルメを食す

(3) 知的好奇心をくすぐる「HISTRIP（ヒストリップ）」



- ・世界遺産姫路城や文化財を活用した姫路プレミアムプランで特別体験！
- ・姫路城とともに発展してきた地場産業、伝統工芸・芸能に触れる特別体験

※歴史(History)+旅(Trip)

(2) 自然の中で心と体を癒す非日常体験



- ・「里山温泉郷」の自然に身を置き、体を動かし、温泉につかることで心身をリフレッシュ！

(4) テーマで巡る回遊周遊ルート



- ・テーマに特化したモデルルートを「周遊バスや観光タクシー」で巡る

(5) MICE参加者へのレガシー



- ・MICE等の義務的旅行者への訴求

理想の姿（ビジョン）

姫路が旅の目的となり、国内外から多くの人を訪れ、宿泊し、各エリアの多様な観光資源・ツーリズムを満喫できる観光地となる。

ハード&ソフト面において、多様な観光ニーズに応えられ、上質な旅を求める旅行者が集まることで、観光消費額が高い観光地となる。

国内外からの旅行者が、姫路城を訪れたあと、各エリアの「観光スポット・食・特産品・体験アクティビティ等」を求めて回遊することが主流となり、経済波及効果が高い観光地となる。

各エリアのステークホルダーとなる観光事業者が施策検証や事業戦略に活かせるデータを共有することで、デジタルを活用した観光地経営を推進することで持続可能な観光地となる。

現状とのギャップ（課題）

入込客数における繁忙・閑散期の差が大きい

エリア・観光資源の認知度が低い

宿泊率が低い

滞在時間が短い・回遊性が低い

観光消費額が低い
◆平均客室単価(ADR)が低い
◆一人あたりの消費額が低い
◆高付加価値化旅行者の受入体制が弱い

エリア全体で観光客に感動体験を連鎖させる仕組み・体制がとれていない
◆アフターコロナで変化する国内外の観光ニーズへの対応の遅れ

人流データの不足

具体的な施策

① 誘客促進（コアエリアへの集客強化と周遊エリアへの回遊促進）

<コアエリアへの集客強化>
・高付加価値化改修を行った施設やブラッシュアップした特別コンテンツを面的に発信（SNS/メディア）
<コアエリアから周遊エリア「里山温泉郷」への周遊・回遊促進>
<情報発信と誘客・回遊性の検証>

② 宿泊施設の高付加価値化改修

<既存宿泊施設> 顧客ニーズに合わせて改修
<町家や古民家を再生し宿泊施設へ>

③ 観光施設の高付加価値化改修

国内観光客に加え、新たにインバウンドの来訪及び滞在・回遊拠点となるため、アフターコロナの新たな観光ニーズに対して訴求力を高める改修を行う。

④ 高付加価値化旅行者をターゲットにした着地型体験コンテンツ造成

観光庁「観光再始動プロジェクト」や自主事業において「姫路プレミアムプラン」を造成し、国内外の高付加価値旅行者をターゲットに、姫路市でしか体験できない特別なコンテンツを企画し販売を行う。

⑤ 感動体験を連鎖させるため、ストーリー・テーマを際立たせたコンテンツの企画

・産地直送の播磨灘の前獲れ鮮魚、地酒、ご当地グルメを核としたガストロノミーツーリズムの推進（実証実験）
・外部専門人材等を活用した体験コンテンツの磨き上げ

⑥ 顧客動線分析（面的な人流データの収集）

人流データの収集・分析により、観光客の嗜好やニーズを洗い出し、DMOの事業戦略はもとより、地域の事業者が次の投資計画（広告宣伝・商品開発・施設改修等）の判断に活用できる手法を確立させる。

地域特性：地域の強み

(1) キラーコンテンツである世界遺産・国宝 姫路城を有する

日本が世界に誇る唯一無二の価値をもつ城：木造建築の最高峰



[1] 日本で初の世界文化遺産に登録（1993年）

[2] 国宝

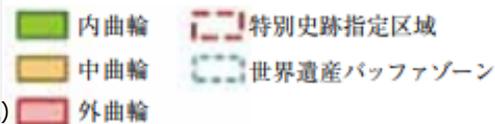
大天守1棟、各小天守を3棟を含む7棟が国宝
(城内の現存建物74棟が重要文化財)

[3] 日本で唯一の連立式天守

東・西・乾の小天守が渡櫓で連結

[3] 現存する天守

江戸時代以前に建設され、今も天守が残る



世界遺産のエリアは約107ha（特別史跡指定区域）

JR姫路駅から徒歩15分で行ける世界遺産

◆新幹線の駅（姫路駅）から最も近い世界遺産



姫路城周辺での多彩なイベント

- 特別公開
- プレミアム体験プログラム
- ライトアップ (LED)
- 大手前通りイルミネーション
- 内堀めぐり 観光和船
- ナイトイベント 他



世界中のインバウンドも想定した充実した受入体制

- 30言語によるリーフレットの設置
- 日・英語による城内ガイドツアー
- 音声ガイド（5言語）
- 無料Wi-Fi
- 姫路城ARアプリ「姫路城大発見」（5言語）
- 教育旅行等のアーリーバード入城
- JRパス等の割引入城
- 姫路城VRスコープ
- ライブカメラ、混雑状況をWeb表示



(2) 豊富な観光資源・体験コンテンツ

城下町エリアの観光資源・体験コンテンツ

姫路城での感動を胸に城下町を巡る歴史・文化体験！

a) 地元観光ガイドによる城下町巡り

：まちあるきガイド多様なテーマでご案内（国内向け3団体、インバウンド向け2団体）



姫路市立美術館
城見台公園

建立歴史博物館
姫路文学館

<一例>

- ・城下町のユニークな建築物&フォトスポット巡り（右記写真）
- ・今に残る絵図の道「城下町・城東めぐり」
- ・姫路城・東西南北「内濠めぐり」
- ・歴史的なたたずまいが残る「船場・城西」まちあるき

c) 姫路城体験型歴史探求事業（和船）



b) 姫路城での特別体験（プレミアムプラン）

- ・姫路藩ゆかりの能楽師による能演
- ・専門家といく姫路城夜間特別入城



d) 築約200年の町家を改装した施設で宿泊

※世界遺産バッファゾーン（野里エリア）



e) 城下町ともに発展した和菓子づくり体験



周遊エリア「里山温泉郷」の観光資源・体験コンテンツ

城下町にない魅力でさらに感動体験を！
～心と体を癒す自然環境～

a) 書写山トレッキングと圓教寺の塔頭「壽量院」での精進料理（ミシュラン一つ星）



b) 奥播磨かかしの人



c) 酒蔵見学



d) 姫路ばら園



b) 静かな田園地帯に湧く塩田温泉郷の旅館に宿泊



(3) 多彩な食資源・食文化ーガストロノミーツーリズムの優位性ー

播磨灘の「前どれ」鮮魚



Point1

家島諸島のまわりに広がるの播磨灘で獲れた魚を「前どれ」と呼び、ブランド化された鮮魚を、城下町エリアの飲食店を中心に四季折々楽しめる。

春 姫路 華姫さけ



船の上で活め、血抜き、神経締めをした、抜群の鮮度が自慢の高級魚

夏 姫路 白鷺鱈



坊勢漁協自らが活けめ・血抜き処理、他地区にない鮮度管理により、姫路城（白鷺城）のような真っ白でふっくらした身を味わえる。

秋 姫路 ぼうぜ鯖



坊勢島で養殖されたマサバを「ぼうぜ鯖」としてブランド化

冬 姫路 ぼうぜがに



殻の大きさ18センチ以上で、濃厚な味わいが楽しめる坊勢のブランド、ワタリガニ

その他、「穴子」「白鷺サーモン」「いかなご」「しらす」「牡蠣」「海苔」など

Point2

鮮度がすべて！姫路（家島諸島～ベイエリア～城下町エリア）でしか味わえない鮮魚とメニュー

<一例>



Point1

※播磨風土記に記載

姫路市を含む播磨地域は「日本酒のふるさと」

播州平野で収穫される山田錦は全国生産量の8割を占め、市内には8つの酒蔵があり、個性溢れる日本酒が製造されている

Point2

大量生産しない希少性「姫路グルメとのマリアージュ」

市外で流通しない銘柄も多く、市内飲食店で「まえどれ鮮魚」をはじめ姫路グルメと合わせて楽しむのがオススメ。

Point3

酒蔵巡りと蔵直売所

8蔵は地域計画の3エリアに点在し、各蔵の見学や直売所での限定品などの購入が可能。観光タクシーを使つての酒蔵巡りもオススメ！

Point4

GIはりま

世界ブランド指定GIに認定された名酒が多数

(3) 多彩な食資源・食文化－ガストロミーツーリズムの優位性－

姫路市民が愛してやまないソールフード！

姫路おでん

生姜醤油で食べるのが姫路流。
市内各所の飲食店で提供され、おでんマップも人気。

※地域ブランド商標を取得し、一定の基準を満たしたものを定義



姫路の地酒



まねき「えきそば」



明石焼き風たこ焼き



ひねぼん

中華麺に和風だしが特徴のそば

たこ焼きにソースを塗ってから、出汁に

炙ったひね鳥のポン酢和え

姫路市内の複数の店舗で提供され、姫路市民に親しまれ、日常的に食されているご当地グルメ！（地域独特の料理）



喃風「どろ焼き」



姫路ちゃんぼん

お好み焼きでも、もんじゃ焼きでもない

焼きそば？焼きうどん？その両方を一度に焼いたもの



城下町どつく

チーズ入りのかまぼこにドックの素を絡めて揚げたワンハンドグルメ

アーモンドバタートースト



姫路の喫茶店文化 モーニング文化

姫路に根付いた食文化「喫茶店でのモーニング」
→市内各所の喫茶店では、アーモンドバタートーストをはじめ独自のモーニングメニューが提供されている。土産物としても人気。
市内には297件の喫茶店が点在。（goo地図調べ）



(4) 主要都市からのアクセスの良さ



◆山陽新幹線の停車駅として主要都市からのアクセスが便利（以下、姫路駅までの所要時間）
（JAPAN RAIL PASSの利用可能）

鹿児島中央	福岡	広島	岡山	新神戸	新大阪	京都	名古屋	東京
3時間52分	2時間	1時間	20分	15分	30分	45分	1時間20分	3時間

◆中国自動車道・山陽自動車道等の利便性

◆関西3空港（関西国際空港・大阪空港・神戸空港）からのアクセスの良さ

関西国際空港	リムジンバス直通2時間
大阪空港	リムジンバス直通1時間20分
神戸空港	ポートライナー + JR 1時間

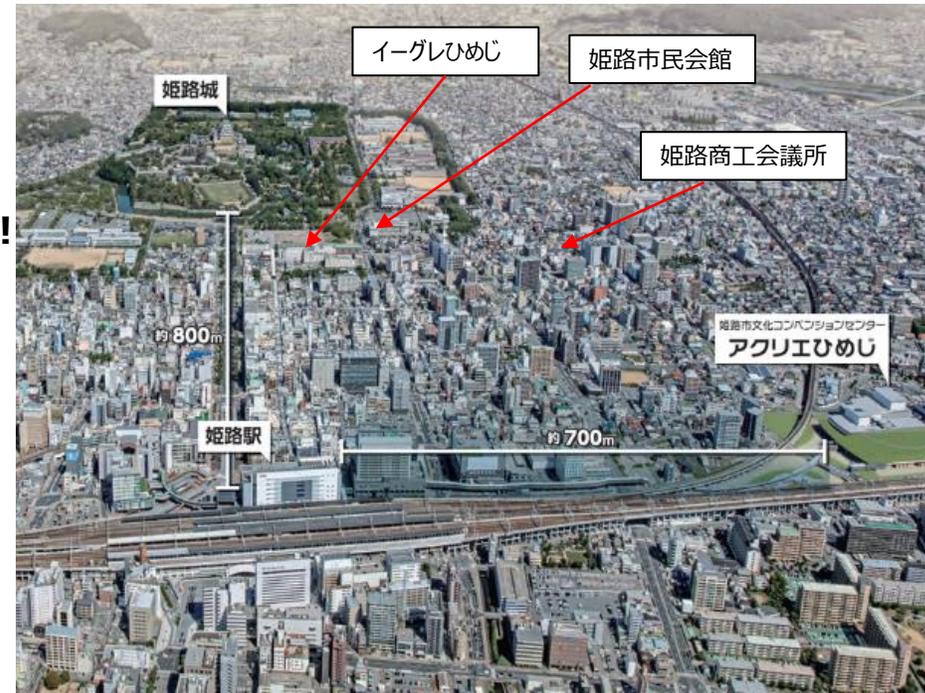
◆関西圏からの複数の交通手段

- 在来線（新快速）：大阪から1時間
- 山陽電車：Himeji Tourist Passの販売
（関西国際空港から最も安価に訪訪）

(5) 多数のMICE施設が点在しており、国際会議やイベント等を通じて国内外から観光客を呼び込みやすい

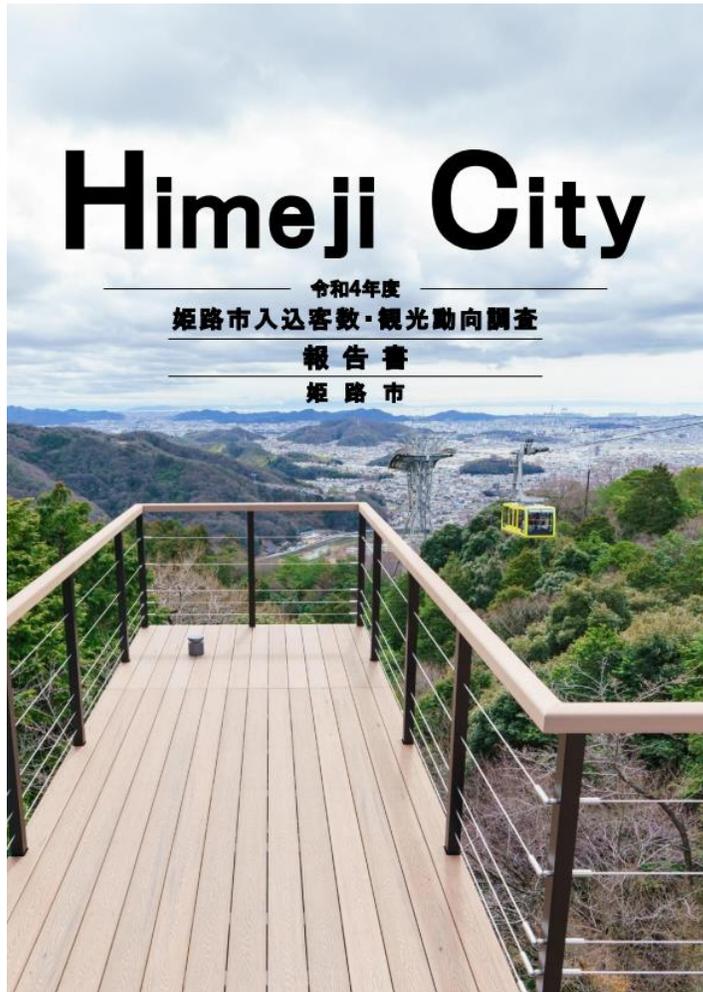
MIC開催にあたる利便性！城下町エリアの徒歩圏内でMICEが完結！

- ①2021年9月開館のホール、会議室、展示場を備えた大規模複合施設「アクリエ姫路」をはじめ、多数のMICE施設が点在
- ②宿泊：5,000室8,000人の収容
- ③エクスカージョン：姫路城をはじめ観光資源が豊富
- ④ユニークベニュー：姫路城や観光施設を特別に使用したユニークプランが豊富
- ⑤飲食：姫路グルメを堪能できる名店が集積
- ⑥土産購入：特産品をはじめ地場産品や伝統工芸品が購入できる



◆ 姫路市観光動向調査

検索 姫路市入込客数・観光動向調査



◆ 姫路観光コンベンションビューロー観光地マスタープラン

<https://www.himeji-kanko.jp/dmo/news/145>

